

## どんな子みつけ！

お天気に悩まされた春たんけん。まさか2学年が延期になるとは思ってもみませんでした。延期にした甲斐あり！の青い空と、緑の原っぱのコントラストがきれいな、絶好のたんけん日和となりました。ご協力ありがとうございました。

たんけんたいの日は、子どもたちより少し前に幼稚園を出発するのですが、年少さんのたんけんの日、出掛けに、「年少さんのおみそ汁作るの頑張っねー！」と年長さんに声を掛けられました。その言葉の裏には、“年少さんは初めてネイチャーランドに行くんだから、お願いね”の気持ちが入っているようでした。それもそのはず。毎年年少さんのたんけんたいは、初めてのことの連続で、“疲れた～歩けない～食べられない～”のオンパレードなのです。

さて、今年の年少さんかというと、ネイチャーランドに着くや否や、原っぱを走り出しました。これは、年中や年長さんの姿とおなじ！相当な距離を走り、また凸凹の原っぱを駆け抜けて来るので、疲れるはずですが、誰一人止まって座り込む子も泣き言をいう子もおらず、「やっと着いたー！」と満足げな顔。その後も、ちょうちょを追いかけたり、山を転がったり、忍者屋敷に行ったりして、とにかくあちこち動き回っていたのです。

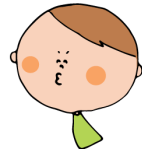
そんな年少さんに理事長先生が掘りたてのジャガイモをピザ窯で焼いた、『ベ

イクドポテト』をおやつにしてくれました。すると、出来立てのポテトを驚掴みにして、「あっちっ！」

と言いながらも頬張るのです。中には、お口に入れたポテトが熱すぎて涙を浮かべる子もいましたが、そこまでしても、食べたくなって日ごろはお母さんにしてもらっている「フー」にも挑戦してベイクドポテトを結局全部、平らげてしまいました！はじめてのフー体験だったようです。

さあ、ここまでではよかったです。お昼ご飯の時間に、びっくり衝撃事件が起きました。犯人は、シートにやってくる虫たちでした。先生が、「ネイチャーランドは虫たちのお家なのよ。虫のお家にお邪魔させてもらっているの。きっと虫さんが会いにきてくれたのね。」…と伝えます。すると、隣にいた子が、「私のシートにもアリスさんが来た！お友だちになりたいのかな。」と言い出します。「あっち行きなさい！フーってすばいよ」と、言い出す子どもでできます。二度目のフー体験となりました。

『物は考えよう』で、虫をお友だちのように捉えたり、追い払うのも楽しく遊びのように出来たらいいなと思うのです。それは素直な心の子もたちだからこそ出来る技！思考を少し変えてあげるだけで、コロッと気を取り直したりすることもあります。虫を怖がっていた子も、幼稚園に着くころには、「さっき（私）泣いてたでしょ！でもさっきフー出来たよ！すごいでしょ？」と言っていましたので、一つ山を越えられたことでしょう。



# こなな

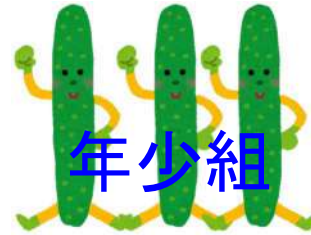
「こなな」は、ようちえんで起こる  
こななとき・こななこと・こ～んなにを  
折々お届けします。

## 全部たべたでしょ！

毎朝、「今日は全部食べる！」と完食宣言する年少組。「見て！全部食べたよ！」と職員室にまでお弁当箱を見せにくることもある程です。

ある日、保育室に行くと、そそくさとお弁当を片付けている女の子がいました。いつもなら得意げにお弁当箱を見せるのに、どうしてかと思って、「あれ？今日はお弁当見せてくれないの？」と声を掛けました。すると、急にまたお弁当を広げだして、「ちょっとあっち行って！」と言います。なんだか怪しい～と思いながら見て見ぬふりをしていると、残っていたおにぎりをモグモグ。そして「ほら全部たべたでしょ！」と空っぽのお弁当を見せたのでした。

褒めてもらうことを期待したり、残したことを知られたくなかったりする気持ちが、素直に行動に表れる年少組です。



お弁当の時間が楽しみ！「全部食べたよ！」と報告したくてしょうがない年少組。

## お見通し！



目下忍者の修行中！  
忍者になるためにはいい子でいなくっちゃ！

ある日、「先生！カラー帽子がないから貸してください！」と職員室に男の子が入って来ました。困ったことを知らせることが出来て、更にどうしたらいいか対応もわかっている様子に、「さすが年中さんえらいね～」と言おうとしました。すると次の瞬間！「それはそうでしょう。H君の帽子、先生がお預かりしてるもの！」とただならぬ雰囲気です。「カラー帽子、自分でお片付けしたかしら？お友だちに片付けてもらったりしてないでしょうね？」と先生。どうやら、自分のカラー帽子をお友だちに頼んで片付けてもらおうとしたようで、お友だちがH君の帽子を持って上がるのを見つけ先生が預かったようです。

Hくんは、“横着して人に頼んではいけない”ことを学びました。恐るべし！先生は「おみとおし」なのです。

## おかまいなし…



♪ピタゴラスイッチ♪  
カプラ積木を使って、ビー玉を走らせる迷路作りに熱中！

ある朝、年少さんのお部屋に、「〇〇君いる？」と入ってきた年長組。先生が「まだ来てないのよ。」と伝えると、「あ～よかった！」と、気になる声が返ってきました。「えー！そんな言い方したら悲しい。」と先生。すると「だってー、おもちゃを持って行っちゃうし、壊しちゃうし！」と腹を立てているようです。どうやら前日までに年長組を怒らせる事件が多々～あったようでした。

お友だちと仲良く遊ぶためのルールがちゃんと身につけている年長組にとっては、ルールおかまいなしの年少さんが衝動的におもちゃを取ったり、壊したりすることが、信じられないような、手を焼いているような…感じなのでしょう。それにしても、入園したばかりの年少さんをそんな風に言ったら、先生が黙っているわけがないのは、わかりそうなものでしたが、“全く困っちゃうよ！”と、お兄さんぶりたかったのかな？とも感じられました。

さて、使ってほしくない言葉については、どうしたかという…

「君たちが年少さんの時は、どうだったかな？年長さんに怒られたりしたかしら？」と、先生に言われ、自分のことを振り返ったり、それにより、言われた子の気持ちにもハッと気づいたようでした。



年長組

## こ～んな子みつけ！



折り紙で作った“おにぎり”嬉しくって大事に食べてるよ！



「お野菜食べないよー」先生のトンネルに逃げ込んだこ～ちゃん。